

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幼児発達支援センター柏学園			
○保護者評価実施期間	令和 6年 11月 12日		～	令和 7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	令和 6年 11月 2日		～	令和 7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	令和 6年 11月 2日		～	令和 7年 1月 17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7名	(回答数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域との繋がり。 ※以前より児童発達支援センター等機能強化事業や市町の母子保健事業の委託を受けており、近隣の保育園、幼稚園、認定子ども園等との関係が深く、今後もこの繋がりを大切にすること。	協議会や子ども子育て会議等には参加していくこと。 依頼された研修講師等はできるだけ引き受けていくこと。 訪問先施設からの対象児以外の相談には、速やかに対応すること(児童発達支援センター等機能強化事業)。	近隣の児童発達支援事業所との連携。
2	保護者との繋がり。 ※こどもの発達の評価だけではなく、保育園や幼稚園、認定こども園での様子を見させていた上で、保護者のご希望と訪問先施設の保育、教育理念に沿った支援が可能かどうかを判断させてもらうこと。	保育所等訪問支援を実施する前には、基本的な相談と個別療育は実施することになっている。 担当支援者と保護者がこどもの成長発達を共有できる状態を作ること。	保護者への適切な療育的助言ができるような職員の育成。
3	訪問先施設の評価。 ※こどもの育ちを通して、訪問先施設と同じ立場目線で、親と子を支えていくことができるような支援をしていくこと。	活動の中に一緒に参加させてもらうこと。 わかりやすい言葉でこどもの発達を解説すること。 訪問先施設の先生方と信頼関係を築くこと。	協働できる人間性を持った職員の育成。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の育成。 ※保育所等訪問支援事業をこなしていくことのできる支援員は、ある程度の療育技術と専門的な知識、経験が必要であり、養成することに時間を要す。	女性の多い職場であり、女性ならではの一定期間の空白ができることも想定していかなければならない。	職員の仕事に対するモチベーションを保つための工夫。 資質の向上を目指すための研修。
2	ケース会議等担当者が共有する時間の設定が難しいこと。 ※中堅からベテランと呼ばれる職員の仕事量の多さについて、分担してはいるが、どうしても差が生じる。	様々な事業に対応する職員に限られており、どうしても仕事が集まってしまう傾向にある。	業務の効率化と職員の育成。
3	外部研修への参加がなかなか難しいこと。 ※支援員が少なく、保護者からの希望に沿って支援をしていこうと思うと、研修の時間が確保しにくい。	保育所等訪問支援事業に特化した研修は少なく、どの研修が訪問支援員にとって有効であるかの選択が難しい。	支援員として必要なことは何かを熟知し、有効な研修を計画していく。

(別紙5)

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	幼児発達支援センター柏学園
------	---------------

公表日 令和 7 年 2 月 7 日

利用児童数 7 名 回収数 6 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3			3		必要な教具教材が訪問先にはない場合は柏学園の教具教材を使用し、ご紹介して訪問先が揃えてくださることもあります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6					個別指導室や個別相談室を使用しています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					継続していきます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					事業を開始する前に相談しています。また次回の日程はその都度お伝えしています。
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5		1			訪問する支援員については、こどもの評価が適切にできる、療育の経験年数が長い職員が支援するようにしています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				こども園の先生方と情報を共有していただいていることで、これまで以上に相談しやすくなりました。/	継続していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					継続していきます。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6					継続していきます。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1		保育所等訪問支援ガイドラインの説明と周知をしていきます。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					継続していきます。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6					継続していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					継続していきます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					継続していきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	1	1		就学についての学習会等に必要であれば声をかけさせていただいていますが、個別の懇談等でご相談には対応しています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6				継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				詳しく具体的にアドバイスをして頂き助かりました。/ 継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				継続していきます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				継続しています。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				継続していきます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5			1	お子さんの発達や育ちを客観的に評価し、訪問先施設にも伝えていきます。その上で、一緒に考えていくようにしています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6				継続していきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6				継続していきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	1		3	この度の自己評価結果については柏学園ホームページで公表いたします。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				記録その他の管理については、児童発達支援センター柏学園と同様にしております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4			2	訪問時に災害等の緊急事態になった場合は、訪問先のマニュアルに沿って対応していきます。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1	訪問先の安全計画に則って支援をさせていただきます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5			1	いつも楽しみにしています。/とても喜んでます。/ お子さんの様子や支援の内容を丁寧に伝えていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	6				保育所の先生方と共に子どもの発達に合わせた支援を考慮して頂いて大変有り難いです。支援に感謝しております。家庭でも取り入れる事が出来るので参考にしています。/ ご協力に感謝いたします。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名					公表日	令和 7 年 2 月 7 日
幼児発達支援センター柏学園					利用児童数	7 名 回収数 7 名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7			本児の特性をわかりやすく教えて下さり、その対応の具体例等もわかりやすく教えて下さり、取り入れやすかった。/本児はとても落ち着いており、友だちと一緒に行動しているの、一見見ただけではわからなくなっている。/専門的なアドバイスをいただいている。/具体的なアドバイスなので、とても参考になる（保育に生かすことができています）。/実際に取り入れられるアドバイスを頂き、それを実践し問題を解決することができた。/	訪問先の保育の実践をみせていただくことは、我々にとっても非常に勉強になります。一緒に考えるスタイルが柏学園のスタイルなので、今後ともよろしくお願いします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7			私たちの思い込みの部分を一度白紙にして下さり、今の保育園での対応や、この環境が本児にとって良いことだと知らせて下さった。/満足している。同じクラスのお子さんで気になる子の相談にもって下さっている。/	新しい情報や保育内容などには常に敏感でありたいと考えています。研修や実践を積み重ね、一人ひとりのお子さんの育ちを支えていくことができるようにしたいと考えています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7			適切です。先生主導の話し方を実際見せて下さり、その言葉で本児の心が動く瞬間を見せて下さった。/具体的に私たちにもわかりやすく、実践できることをアドバイスして下さっている。/疑問に的確にこたえてもらえるので、よりよい保育につながる。/質問したことに対しての回答をしていただいている。/疑問にも丁寧に回答下さり、親身になって問題解決できるよう考えてくれる。/	わかりやすく説明すること、一方的な助言や回答にならないようにすることを心がけていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7			取り組んではみたがうまくいかず、本児の「〇〇出してー」の要求に応えながら「少し手伝って」と本児のできる部分を少しずつ増やしていけるようになってきた。/アドバイス通りにやって成功したこと、なかなかうまくいかないこともあるが、困りごとは少しずつ解消されている。/保育の方向性が間違えていなかったかを確認することができている。/ひとつの質問に対して、ひとつの回答ではなく複数の回答を下さるので自分のやりやすい方法を選択することができている。/	継続していきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	7			本児だけでなく、その他の気になるお子さんも見ていただけ、満足している。/満足している。たくさんの支援の必要な子へのアドバイスに毎回勉強させてもらっている。/	継続していきます。
					ご意見を踏まえた対応	
保育士に対して、子どもの特性や関わり方についてアドバイスして下さる際、保育士の思いを尊重しつつ的確に説明していただいております。保育士とは違う視点から話をしてくださることもあり、言い難いこともあるなか、子どものことを思って支援して下さることに感謝の気持ちでいっぱいです。月に1回の訪問ではありますが、保護者や家庭など園以外のことを含めて子どもを理解して下さり、園と情報を共有しながら支援していただいております。大変満足しております。/ 一人ひとり支援の方法が違っても、この子はこうやってみよう、このパターンは〇〇くん似ているからこうしてみよう等、応用がきくようになってきた。職員の対応がスムーズになってきたように感じる。子どもに寄り添いながらも職員が主導権をとるところがまだできにくい。その技を学びたい。保護者に対する話し方、理解して頂く伝達方法なども勉強していきたい。/ たくさん支援のいるお子さんがいるので、その他にも毎月様子を見て頂き、その子の困り感やどうしたら良いかのアドバイスをいつもして頂き、職員がとても救われています。特性のあるお子さんに寄り添うこと、その子の困り感を少しでも軽減して、保育園に来て良かったと思えるよう、一日一日過ごしています。/ 個別にカンファレンスを行うことで、安心して話をする事ができています。実際に対象児の保育所での様子を見てもらい支援方法をアドバイスしていただくことで、実践につなげることができています。これからもよろしくお願いします。/ 一緒に子どもの成長を喜び合える関係が築けていることをうれしく思うし、ありがたいと思っています。いつもありがとうございます。療育の視点から見ていただくことで、今まで配慮が行き届きにくかったことに気付くことができ、保育に生かすことができています。これからもよろしくお願いします。/					集団をまとめて適正なクラス運営を行っていくことの大変さは同じこどもを育てる仕事をしている我々も同じ思いをもってします。訪問先の先生方と一緒に保育をし、カンファレンスをしていくことで、我々も多くのことを学ばせていただいています。インクルーシブな保育教育を実践していく一つの形として役に立つ保育所等訪問支援を行っていきたいと考えています。ご協力ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 2月 7日				
事業所名		幼児発達支援センター柏学園				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	使用する必要がある場合は通園部の教具教材を適切に使用している。/	継続していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	この事業を担える職員を今後も継続的、断続的に育成していくこと。/	利用希望者が多く、お断りせざるを得ないことがあります。職員の育成が急務です。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	関係職員間で話し合いは行っている。/	児童発達支援センター柏学園に準じています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	今年度よりその機会を設けたので業務改善に繋がった。/月1回保護者と訪問時の内容を共有し、意向を聞き取りしている。/	今後は、保護者向け評価表のご意見を、真摯に受け止め、できるところは改善していくようにしていきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	今年度よりその機会を設けたので業務改善に繋がった。/業務内容で困った時には上司に相談し、改善につなぐよう心掛けている。/	児童発達支援センター柏学園に準じています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	外部評価は行っていない。/	現在は行っていません。今後考えていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	職員のステップアップ、キャリアアップに繋がるよう実施している。/	研修については、児童発達支援センター柏学園としての園内研修はもとより、外部研修にも参加できるようにしています。継続していきます。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	アセスメントも含めて客観的に分析することを心がけて作成している。/	客観的に分析する方法としては、各発達検査を使用しています。その上でニーズを整理し、計画を作成しています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	行えていると思う。/	継続していきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	訪問先施設や担任等の意向、困り感はしっかり聞き取るようにしている。/	継続していきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	支援計画を職員の方にも共有し、共通認識を図れるように心がけている。/行えていると思う。/	継続していきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	年に1回は新版K式発達検査を実施している。/K式発達検査を用いながら発達の確認をして保育所の職員と話すようにしている。/	柏学園の療育に準じています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	訪問先施設で実施できる具体的な支援内容になるように検討している。/	本人支援、訪問先施設の職員支援、家族支援を実施しています。継続していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	行えていると思う。/	継続していきます。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	必ずとは言いが、必要に応じて実施している。/	管理者、児童発達支援管理責任者、支援員で行いますが、調整がうまくつかない日もあります。時間調整をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	必ずとは言いが、必要に応じて実施している。/	管理者、児童発達支援管理責任者、支援員で行いますが、調整がうまくつかない日もあります。時間調整をしています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	可能な限り訪問先の理念や支援手法を尊重しながら、実現可能な支援を検討している。/	継続していきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	毎回の記録は徹底しており、検証に繋げている。/	記録については思いのほか時間を要します。端的に誰がみてもわかりやすい記入の仕方を工夫していきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的に行っている。/	継続していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	可能な限り参画している。/	時間の調整が難しい場合が多く、なかなか参加できないという現状です。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	様々な関係機関との支援体制の構築には至っていないが、必要に応じて連携するようにはしている。/	管理者が窓口となり、児童発達支援管理責任者や支援員が連携を図っていく体制を整えています。必要に応じて連携をとっていきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	不足している部分があると思う。/	幼保小の架け橋プログラム等が謳われ、連携が行われるようになりました。もう少し積極的に情報提供していきたいと考えています。学校教育との相互理解は必要だと考えています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	可能な限り外部研修に参加して学ぶ機会を設けている。/	継続していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	現在、地域に子ども部会は設置されていない。/子ども・子育て会議には上司が出席している。/	時間の調整が難しい場合が多く、なかなか参加できないというのが現状ですが、積極的に参加していくようにします。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	基本的には月1回は話し合う機会を設けることを目指している。/	継続していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	実施している家族支援プログラム(就学に向けての学習会、柏学園版ベアトレ)を紹介している。/	継続していきます。
保護者等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に説明するが丁寧に行えているかは再考していきたい。/	丁寧な説明に関しては、行う人によって違うという側面があるので、説明の仕方を統一していきたいと思います。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	事業開始時に事業の趣旨や訪問支援の目的等は説明している。/	継続していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	子どもの最善の利益を最優先に考えた上で、こどもや保護者の意思を尊重するように心がけている。/	継続していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	説明を行い、同意を得ている。/	継続していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	基本的には月1回は話し合う機会を設けることを目指している。/	継続していきます。

守 へ の 説 明 等	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	そのような機会は設けられていない。/	この事業では必要ないと考えています。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	対応するように努めている。/	職員間の報告連絡相談体制をより明確にしています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	3	できていない。/	今後考えていきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	十分留意している。/	記録やPC、USBなどの職員室からの持ち出しは禁止しています。職員室内には防犯カメラを設置しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	それぞれに合わせて配慮するように努めている。/	外国籍の保護者が増えています。PCや携帯を駆使することも多々あります。意思の疎通は大切なことなので、充分配慮していきたいと考えています。
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	可能な限り行っている。/	支援を必要とするこどもが増加しているように感じています。クラスの中で、対象のこどもの支援のみでは終わらない状況があります。集団保育を考える時には、クラスの一人ひとりのこどもの育ちを考える必要があると考えます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	毎回実施している。/	わかりやすい説明や解説、訪問先施設の先生の考えている保育や思いも含めて丁寧に話し合いを行います。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	実施後すぐにはではないが、行うようにしている。/	月1回程度は必ず家族とお会いして、お話するようにしています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	十分留意している。/	個人名や記録、そのPCやUSBなどは職員室からの持ち出しを禁止しています。職員室には防犯カメラを設置しています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	できる限り行っている。/	継続したいと考えています。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	3	この事業においては実施していない。/	柏学園に準じています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	3	この事業においては実施していない。/	柏学園に準じています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	その都度検討している。/	柏学園に準じています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	権利擁護についての研修を実施している。/	柏学園の研修に沿って、研修を実施しています。継続していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	3	現在までに身体拘束を行うようなケースはないが、必要に応じて検討していきたい。/	柏学園の研修に沿って、研修を実施しています。継続していきます。